

児童発達支援事業 支援プログラム

事業所名

多機能型事業所え〜る

作成日

2025 年

3 月

28 日

法人（事業所）理念		身体に重い障害を抱える、子どもから大人まで様々な方々の健康と生活を応援していきたい——。 以上をモットーに、弊法人はリハビリテーションの観点を含むあらゆる角度から障害児・者の健康と生活を支援していきます。		
支援方針		リハビリテーションと医療的ケアの提供を軸に、利用者のご家族の身体的・精神的健康をサポートしつつ、様々な可能性を引き出せるよう成長や発達に合わせた支援プログラムを提供します。		
営業時間		10 時 00 分から 12 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	ご家庭と直接のコミュニケーションや連絡帳等を通して、利用日の体温、排尿・排便時間、発作の有無、様子等を確認し、来所後は職員による検温、健康チェック、手洗い(手指消毒)の促しで健康の維持に努めます。 食事・飲み物はそれぞれの食形態にて個別に対応します。 医療的ケアが必要な方に対しては、ご家庭と綿密な連絡を行いつつ対応し、安心安全に過ごせるよう配慮しています。 自宅以外の場所で生活することへの慣れ、基本的な生活リズムを整えていきます。		
	運動・感覚	利用日には理学療法(PT)・作業療法(OT)・言語聴覚療法(ST)の個別リハビリを提供しています。 PTでは粗大運動やバランス感覚、姿勢保持、移動手手段の獲得を目指しています。 OTでは微細運動や感覚面の評価を行い、個々に合った遊びの提供を行っています。 STでは意思の理解や伝達の手段の模索のみならず、咀嚼嚥下機能の向上を図ります。		
	認知・行動	玩具を使った遊びやリハビリを通して視覚・聴覚・触覚能力を刺激します。		
	言語 コミュニケーション	PT・OT・STと連携し、意思伝達の手段を模索します。 表出が難しい場合でも、こちらが子供が発信する情報をキャッチできるようにしていきます。		
	人間関係 社会性	利用者の仲間や職員、多機能型事業所の特性を活かした他の年代の利用者らとの関わりで、家族以外の人と触れ合うことに慣れます。		
家族支援		発達の遅れや障害をもつ子どもの子育ての相談、援助をします。 保護者同士が子育てや悩みなどを共有できる場所を提供します。 必要に応じてPT・OT・STの観点から補装具に関するアドバイスをを行います。	移行支援	就学や進路について家族や関係機関と連携していきます。
地域支援・地域連携		保育園・学校・通所施設や医療機関など、関係機関との連携を行い、より良いサービスが提供できるよう情報共有を行います。	職員の質の向上	外部研修の参加、事業所内勉強会、症例検討の実施を行います。
主な行事等		初詣、節分、ひな祭り、進級式、水遊び、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、卒園式などを中心に、利用者の良い体験になるようなイベントをフレキシブルに企画します。		